

非核日本キャンペーン 高知県ニュース

2024年5月22日

発行 高知県原水爆対策協議会
高知市丸ノ内2-1-10 088-875-3917



平和行進四国コース・高知入り(5月19日・日)



5月19日、雨の中徳島県境の「水床トンネル前」で、2週間の徳島県内行進を終えた、徳島の仲間から、四国コースの横断幕が、高知へと引き継がれました。高知コース出発は、通し行進者の「山内金久」さんのトランペットの演奏で始まりました。徳島の皆さんに見送られ

た、高知のメンバー(高知県教組、日本共産党、国家公務員労組など)は、東洋町内を更新したのち、室戸市での集会(風雨が強くなり行進取りやめ)をおこない、集会参加者から、通し行進者の山内さんに対して、励ましのメッセージの言葉述べられました。

各自治体首長・議会議長から賛同とペナントへの協力

5月20日(月)は、東洋町、室戸市、奈半利町、北川村、安田町、田野町の6町村を訪問し、首長、議長などと懇談をおこないました。東洋町長は、庁舎に展示したいと「ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ被災展示パネル」を購入してくれました。どの自治体でも、平和行進ペナントの協力をいただきました。平和行進ペナントの「日本政府は核兵器禁止条約に参加を」に対して、抵抗があると、昨年は協力しなかったけれど、核兵器廃絶は、大事なことから、今年は協力をしようと思っていたと、快く協力してくれたことや、意見書の議会決議があがっていない、議会議長からは、議会決議があげられるよう努力したい旨の発言は、訪問団の大きな励みとなりました。



それぞれのスタイルで平和行進

5月20日・21日と行われた平和行進では、高齢になり歩くのは困難になったけれど、「これなら」と、シニアカーでの参加、視覚の不自由な方も両杖をつきながらの参加、ベビーカーを押しての親子連れ、友達に誘われ、途中から参加の保育園児と、犬も一緒に行進に参加するなど、ほのぼのとした平和行進がおこなわれました。また、出発前の山内さん(通し行進者)のトランペット演奏はどこでも歓迎されました。

